

2024/1/26

[JPA2023-081] 申込受付開始：がん患者の抱えるアピアランス問題への心理社会的支援のための研修会

If you are unable to see this message, click the URL below.
<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/JPA2023-081.pdf>

公益社団法人日本心理学会 会員 各位

※このメールは JPASS のメール配信システムを使用し、
送信専用のメールアドレス（ jpa@jpass.online ）から配信しています。
本メールに関するお問い合わせは、日本心理学会代表アドレス
<jpa@psych.or.jp> までお送りください。

◆-----◆
がん患者の抱えるアピアランス問題への心理社会的支援のための研修会
2024年3月2日(土)開催
<https://psych-ws20240302.peatix.com/>

◆-----◆
このたび公益社団法人日本心理学会では、2024年3月2日(土)に
「がん患者の抱えるアピアランス問題への心理社会的支援のための研修会」
を開催することになりました。
申込期間は、1月26日(金)正午から2月25日(日) 23時55分までです。

参加をご希望の方は、下記申し込みサイトの内容をご確認の上、所定の期間内にお申し込みください。

がん患者の抱えるアピアランス問題への心理社会的支援のための研修会
<https://psych-ws20240302.peatix.com/>

■日時
2024年3月2日(土)10:00-17:20 (12:00-13:00 昼休み)

■開催形式
対面での研修

■会場
国立がん研究センター中央病院 管理棟 1F 特別会議室

■定員
30名

■参加費
8,000円

■お申し込み
<https://psych-ws20240302.peatix.com/>
※申込期間：1月26日(金)正午から2月25日(日) 23時55分まで

■概要

がん治療に伴うアピアランス変化は、がん患者にとって重大な問題となる。脱毛などのアピアランスの変化を理由に治療を拒否するような患者もいるし、アピアランスの変化によって社会参加を控えるような患者もいる。

現場の看護師はこれら患者の問題について、十分な時間をかけて対応することができず、適切な対応を行うことに困難さを抱える場合もある。

本研修では、アピアランス問題を抱えたがん患者へ効果的な支援を提供するために、声かけの仕方など心理社会的な支援の方法を身につけることを目的とする。

■対象者

- (1) 全国がん診療連携拠点病院・小児がん拠点病院において、がん患者のアピアランスケアに携わる者
- (2) 外見変化に伴う心理的不安の軽減に向けた相談を行っている医師・看護師・公認心理師・臨床心理士（がん患者指導管理料口の算定資格があることが望ましい）

■主催

公益社団法人日本心理学会・国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター（共催）

■企画

真覚 健（日本心理学会研修委員会委員長、宮城大学）
松本 学（同委員会委員、共愛学園前橋国際大学）
藤間 勝子（国立がん研究センター中央病院）
原田 輝一（寺本記念病院 形成外科）

■講師

藤間 勝子（国立がん研究センター中央病院）
鈴木 公啓（東京未来大学）
松本 学（共愛学園前橋国際大学）
真覚 健（宮城大学）
矢澤 美香子（武蔵野大学）
小林 智美（国立がん研究センター中央病院）

■臨床心理士資格更新ポイント

臨床心理士の方が本研修会（ワークショップ型研修会）に参加し、すべての研修を修めると、下記の通り臨床心理士資格更新ポイントが付与されます。

- ・対面：2ポイント

■本研修会の詳細や注意事項については、申込サイトをご覧ください。

<https://psych-ws20240302.peatix.com/>

■問い合わせ先

公益社団法人日本心理学会 事務局
jpa@psych.or.jp

